

フランス料理を楽しむ会

～ 淡路ふくろうの郷 開所10周年記念事業 ～

ふくろう新聞

<発行>

特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会

洲本市中川原町中川原28番地1
TEL:0799-25-8550
FAX:0799-25-8551

ホームページ
<http://www.normanet.ne.jp/hyoufuku/>



お二人仲良く会食中の旅田さんご夫妻

4月22日、フランス料理を楽しむ会が開かれました。職員が仕事の合間にせつせと準備を行い、いつもの作業場が素敵なおレストランへ大変身！入居者も化粧してもらい、きれいにおめかし。ホテルアナガの総料理長中野様のご協力のもと、調理職員も日頃の腕を發揮しました。160名ものたくさんの方に来ていただけ、入居者やご家族様、いつもお世話に



「おいしい」と笑顔の山田さん

なっている地域の皆様と一緒にとても美味しいフランス料理のフルコースを堪能しました。いつも少ししか食べない方が完食されておられたり、「おいしい」とパンを何回もおかわりされていたりと始終和やかな会食でした。お化粧やウェイターのボランティアにもたくさん来ていただき、皆様のご協力の甲斐あって、「とても美味しかった」と笑顔が見られ、とても素敵な一日となりました。ふくろうの郷はたくさんの方に支えられているのだと改めて実感しました。

4月14日に熊本・大分で大きな地震が発生しました。一週間以上が過ぎても余震が続いています。阪神淡路大震災から21年。当時の苦しい経験から私たちに何が出来るのか。少し考え、できることから行動したいものです。

去る4月25日(月)NHK福祉ポータルハートネットTV『ろうを生きる 難聴を生きる』を担当されている長嶋ダイレクターがふくろうの郷にお越しになりました。「戦争と障害者」をテーマに、取材の事前調査です。半日かけて、黒崎時安さん、勝楽佐代子さん、竹邊正晴さんなど、入居の方々と面談されました。ひとりひとりの戦時中やとりわけ戦後の苦難な体験を聞き

取りされました。日本障害者協議会の藤井克徳代表が6月25日(日)に洲本市文化体育館において講演されます、ナチスヒトラーのホロコーストの実験として障害者を毒ガスや薬物などで20万人も慈悲殺の名目で虐殺した事実を日本で初めて映像として紹介されたのが藤井氏とNHK 教育テレビです。ふくろうの郷の皆さんの語ってこられた「断種」「強制隔離」などがドイツや日本の戦争の歴史の中でどのように繋がっているのか、今後も継続して取材を続けていきたいとのことでした。

(施設長 大矢 暉)

『戦争と障害者』を

テーマとした取材活動として

☆フランス料理を 楽しむ会☆

ホテルアナガ総料理長
中野匡昭様より感想をい
ただきました。

開業10周年の行事で、料理を作る機会を頂いたことに、心からお礼申し上げます。ホテルでも150人を超える料理を作る機会は少なく、不安もございましたが、ふくろうの郷の調理スタッフのご協力により無事に作る事が出来、とても嬉しく感じております。「大変お喜びでした。」とお聞きし、改めて嬉しく感じております。また、皆様とお会いできる日を楽しみにしております。

入居者のご家族、地域の方ボランティアの方より、感想をいただきました。

☆本日はお招き下さりありがとうございます。日頃は忙しさに追われゆっくり食事を楽しむ機会が少ないのでうれしいです。見た目にも美しく美味しかったです。

☆お肉もやわらかくとてもおいしかったです。ごちそうさまでした

☆とてもおいしい料理で幸せでした。お世話になりました

☆メイクさせていただいた方も喜んでいただければ嬉しいです。

☆普段でも激務の中色々なイベントを開催して頂き、頭が下がります。楽しく一日を過ごせました。又母と一緒に食事ができる機会を待っています。本日はありがとうございました。



右から中野様・岸本様・大黒様

ふくろう物語 ④

吉川峯子様



吉川さんは、大正15年生まれの方です。平成27年6月から淡路ふくろうの郷で生活をされていましたが、残念ながら、平成28年3月に逝去されました。

ふくろうの郷に入居される前は、ご主人と一緒に神戸で生活をされていました。ご主人とはとても仲の良いご夫婦だったそうです。

平成27年1月にご主人を亡くされた後、独居生活をされていましたが、「一人では寂しいので、ふくろうの郷で生活をしたい」との希望があり、平成27年6月からふくろうの郷での生活が始まりました。入居時、大好きな猫のぬいぐるみと一緒に、ご主人のお骨も大切に持ってこられました。入居後、ご主人の納骨についての話し合いが行われていた矢先、峯子さんも体調を崩され、その後逝去されました。

た。吉川夫婦の納骨について、ご家族と相談した結果、ふくろうの郷でいつもお世話になっている松栄寺にお願いすることになり、4月21日に施設長と事務長も参列し、無事納骨が終わりました。

行事・予定

- | | |
|--|------------------------------|
| 5/21 (土) 中川原小学校運動会 | 7/23 (土) 理事会 |
| 5/28 (土) 理事会・評議委員会 | 7/24 (日) 流しそうめん |
| 6/22 (日) 全国ろうあ者大会 (徳島) | 9/22 (祝) 理事会・評議委員会 |
| 6/25 (土) ふくろうの郷10周年企画
(淡路インターナショナルホテル ザ・サンラサ) | 10/23 (日) 第11回ふくろう
ふれ愛まつり |
| 7/2 (土) ふくろうバーベキュー大会 | 11/26 (土) 理事会・評議委員会 |

事業と運動の発展をめざす

近畿合同学習会

4月26日(火)、近畿の聴覚障害者団体と当法人と同じように聴覚障害に配慮ある事業展開をしている社会福祉法人に声をかけ、今回は京都、大阪、兵庫から10名が淡路ふくろの郷に集まりました。

聴覚障害者団体はろうあ運動の立場から、社会福祉法人は事業展開の立場からそれぞれの課題を出し合い、連携関係を発展させるために、また目まぐるしく変化する法律、制度など社会情勢にどのように立ち向かっていくかなどが話し合われました。大きな課題としてとらえられたのは、福祉職場で働く人材確保、また聴覚障害者団体の会員の減少を

どうくい止めるかです。人材確保については合同で広告を出したり、説明会に来ていただいた方に他の事業所も紹介したり、府県、法人を超えての人事交流をしてはどうか、といった案が出されました。

社会福祉法人にとって大幅な制度改革が行われ、地域貢献がぎむづけられているなど、たいへんな時代を迎えますが、運動体という大切なパートナーとともに、また一つの団体では乗り切れないことも「近畿はひとつ」を合言葉に一丸となつて立ち向かっていこうと確認しあつた時間でした。

(事務長 橋詰恭子)

おのころの家にネパールから研修生

4月4日(月)～6日(水)の3日間、ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業でギャンさんというネパール人のろう者がおのころの家に研修にお越しになりました。

1日目は難聴者のなかまとの交流です。初日ということもあり、通じるかなと様子を見てみると、筆談ではなく身振りや伝え合っていました。難聴者の宮田さんは「ギャンさんは日本語の話だけでなく、日本語もできるの？すごいね。びっくりしたわ」と言っていました。2日目と3日目は、農作業班のなかまに加わってもらい、濱口直義さんは初対面のギャンさんとのようにコミュニケーションをとつたらどうか、不安に思っていたようでしたが、濱口さんは草刈機の操作方法を教えることを通じて交流できたようで、友だちになれたとたいへん喜んでいました。

(おのころの家 橋詰)



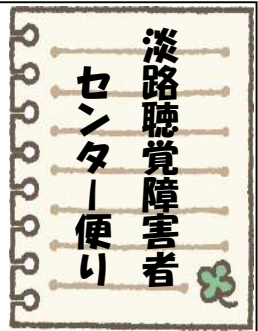
山野さん(右)の生いたちを向うギャンさん(左)

My name is Gyan Bahadur Bhatkoti. I live in the Nepal. first I came in the jappa before 1 year at 1/6. I was study Japanese language and Japan sign language at 3 months. So I can understand to write Japanese language I can understand J.S.L. to did Community work. I went outside to help work all deaf, deaf dumb etc. I got experience to I was sad about a deaf because I have a dream to have support to help by us. I want help all than alone. I was help to. a alone been even walking a way. I can help a alone. I was could Community to support with us. All deaf did understand so I enjoying. all deaf save life for important. I seeing all deaf feeling pleasant. I did support all deaf before 3 day. please never sad. NIAA heart is simply for important.

私の名前は、ギャン・バハドゥル・ビタコチです。

私は、ネパールに住んでいます。昨年の9月6日に、初めて日本にきました。日本語と手話を3ヶ月間勉強しましたので、書いてある日本語も理解できます。J.S.L(日本手話)の集団のこともわかりました。

私は、おのころの家に行つて、ろうあ者の皆さんの仕事を手伝いました。私は耳がきこえないことで悲しい経験をしてきました。だから、聞こえない者同士支え合いたいという夢があります。ひとりぼっちの人を助けたい。(ギャンさんの感想文です。4/6)



洲本市港2-26
洲本市健康福祉館3階

介護保険制度について学ぼう

第一回社会生活教室
4月20日(水)

洲本市健康福祉館

午前中は、居宅介護支援事業所桜ヶ丘のケアマネージャー濱田良介氏に介護保険について説明してもらいました。

午後からはグループに分かれ、「いま何か困っていることはあるか」「もしサービスを利用するならばどんなものを使いたいか」などについて意見を出し



▲熱心に話を聞く参加者

～まずは制度を知ることから～

あいました。普段疑問に思いながらも誰にも聞くことができなかった人もおり、手話通訳や要約筆記をつけた説明と仲間と話すことで整理して考える機会となったようです。

《話し合いの内容》

- ・将来介護が必要な状態になったとき、今は家族が世話すると言ってくれているが、長期化するとお互いが負担になるのでサービスを利用しながら生活できるように考えたい。
- ・ホームヘルパーを利用するならば手話ができる人に来てほしい。
- ・介護について相談できるところがあることが分かり安心。早めに相談したい。
- ・一人暮らしの場合、緊急時は家族やセンターに頼れないこともあるので、近所との繋がりも大切。

情報保障されることで理解に繋がる

制度についての学習は難しいと、最初は乗り気でなかった方も参加してみても自分の身近な問題であることに気づき積極的に発言されました。また、「以前家族から『払う』『戻らない』とい



▲グループで話し合った内容について発表する打越さん

う説明だけで何のことかわからなかったが、今回は手話通訳がついていたので介護保険の仕組みのことだと理解することができた」という方々の感想もありました。

役所からは医療、介護保険、福祉等さまざまな通知や保険証、受給者証が届きます。どんなときにどの制度が使えるのかわからず混乱している人が多いと改めて思いました。今回は初めての学習と言うこともあり、手続きの内容に終わりましたが、法改正により、特別養護老人ホームに入所するためには介護度3以上が必要となったことなど社会の中で生活のしづらさを抱えている方々には厳しい内容ともなっており、今後も学習を重ねていく予定です。

お知らせ

<新着図書・DVD>

- ・手話通訳技能認定試験 傾向と対策 (五訂)
- ・読み取ってみよう&表現してみよう 2015
- ・医療の手話シリーズ
- ・365日のワークシート
- ・聴さん今日も行く!
- ・古今手話集 (DVD)



※他にもたくさんの書籍やDVDがあります。ぜひ学習に役立ててください。

手話奉仕員養成講座開講

手話奉仕員養成講座長期コース(昼・夜)が開講しました。4月21日、夜の部開講式には洲本市健康福祉部の加藤順弘参事にもご出席いただきました。手話の習得とともに聴覚障害者への理解が深まるよう学習していきます。



昼の部の講座の様子。初顔合わせでしたが、楽しく、和やかに学習しました。

<こころのケア相談>

昨年度に引き続き、稲淳子氏がケア相談を担当してまいります。

こころのケア相談は毎月1回、お仕事をお持ちの方のために土曜日に開催しています。手話で気兼ねなくお話しできますので希望される方はセンターまでご連絡ください。
(FAX: 0799-26-1175、TEL: 0799-24-3850)



▲稲淳子氏
(精神保健福祉士)

中川原高齢者・障がい者地域

ふれあいセンター



〒656-0002
兵庫県洲本市中川原町中川原 222-2

農作業の日誌

(南あわじ市賀集にて)



今、淡路島は畑一面玉ねぎが育つ濃い緑のじゅうたんがズーと広がっています。おのころの家の玉ねぎも元氣よくすくすくと育っています。地域のいたるところで手入れ作業が進んでいて活気に満ちています。利用者の方も今日は広々とした玉ねぎ畑で草取りに頑張ります。暖かくなり汗がにじむようになり、畑の中で四季を感じながら農作業に励んでいます。5月末には玉ねぎの収穫が始まります。

(おのころの家 藤崎・中島)

～遊び・保養・体験・交流・研修の場を創造～

昨年度から法人内に事業開拓プロジェクトチームが設置され、法人理事長を含め7人で毎月定期的に会議を開催しています。

この会議では、法人事業所がある洲本市中川原地域に平成30年3月にスマートインターが設置される為、現在工事が進められています。そのインター周辺に中川原地域自治会が洲本市に対して「道の駅」を設置してほしいと要望されています。法人としても地域活性化の為に一役を担えないかこのチームを立ち上げ協議することになりました。また連合町内会をはじめ地域の方々も地域おこし出来ればとの意欲を見せておられます。会議では地域の農産物の産地直売所を作ってはどうか、健康を考えたレストラン、お客さん自身が畑で野菜を収穫してその場で天ぷら等料理ができる農村レストハウスはどうか、イチゴ、トマト、サツマイモ、しいたけなどお客さんが収穫できる観光農園はどうか、淡路島産のイノシシやシカの肉料理を出したらどうか、山羊や羊を飼って動物とふれあいの場を作ってはどうか、農業や竹細工など体験できるコーナーがあっても楽しいな、等々多くの意見が出され具体化が進んでいきます。今年度からは「生きがいサポートセンター」の李 貫一氏に会議参加頂き、新規事業の進め方等アドバイスを受けながら本格的に新規事業の開拓と実現に向けて地域の方と共に進めていきます。

(おのころの家 藤崎・橋詰)



地域密着型通所介護事業所へ移行しました

(デイサービス桜ヶ丘)

平成26年5月に開所したデイサービスセンター桜ヶ丘は、定員10名の小規模事業所です(毎日利用してくださいさる方が10人)平成27年に介護保険制度の改正があり、小規模通所事業所の単位数(ご利用頂く1回の利用代)が、下がりました。ご利用いただく方は、若干利用料が下がりましたが、事業所にとっては、前年度の10%減収となりました。小規模デイサービスは、平成28年4月より、県から市の指定事業となり、名称も地域密着型通所介護になりました。それにより、原則、洲本市在住の方のみ利用可能となっておりますが、当事業所の場合、島内全域対象に聴覚障害者支援を積極的に行っている事業所・法人であることから、4月以降もご本人の状況によっては洲本市以外の方もご利用いただけることとなっております。平成29年度からは要支援の方々はデイサービスやヘルパの利用ができなくなる方向性がでていきます。平成30年には、また小規模事業所の単位数の引き下げが予想されます。小規模では利用の皆さんのおひとりおひとりの顔が見



続々・地域を語る 中川原むかし話

かるた 口説き

NO22

北 岡 肇

⑦ てんでん、てんまの子守り唄、
背中におわれてすやすやと。

ねんねんころいち、天満のいちは、だい
こんそろえて船に積む。船に積んだらど
こまでいきやる。木津灘波の橋の下、橋の
下にはかもめが居やる、かもめとりたや、
網ほしや、網がゆらゆら由良之助《ゆうの
すけ》。この世に生を受けダツコにオン
ブ、赤ちゃんの子守りが始まります。生ま
れて初めて腕のなか、せなかにオンブさ
れて唄を聞く、それは子守り唄でないで
しょうか。赤ちゃんは唄の文句がわから
ないけれど、唄につられてスヤスヤと眠
っていく。子守り唄はおとながうたった
ものであるけれど、「日本の子どもたちに
対する最初の文学教育、音楽、情操教育」
ともいわれています。最近の少子高齢化、
文化、生活の様変わりによって子守り唄
など郷愁の昔となってしまいました。そ
れに変わってオモチャや赤ちゃん用品が
出回り各家庭に、また誕生祝にと送られ
ています。

子守り唄はかくちによって唄の文
句茶や節回しは異なっていますがお
ぼえています方は想い出してみてください
ください。そして唄ってみてください。
そして孫や子に伝えてやってくださ
い。

《以下淡路の子守唄》

ねんねんなされ (由良の子守り唄)

ねんねんなされ おやすみなされ

ねたら子もらく もりもらく

ねんねんなされ ねた子はかわい

おきて泣く子は つらくい

ねんねころいち (柳沢の子守り唄)

ねんねころいち てんまのいちよ

だれもやかましゅ ねんころりん

いうてくれなよ ねんよねんよ

ねんねんよ ねんこしやんせ

とこしやんせ 明日はとうから

起きしやんせ

ねんよねんよと ねさしておいて

親はコタツで針しぎと

ねんねんなされ (阿那賀の子守り唄)

ねんねんなされ おやすみなされ

明日はとうから おきなされ

(2・3番省略)

淡路ふくろうの郷 10周年企画

バーベキュー大会

7月2日(土)16時から

参加費:大人¥1000 小学生¥500 小学生以下 無料
アルコールは別

お問い合わせは 0799-25-8550(担当:竹原まで)

当日お手伝いいただけるボランティアさんを募集しています

淡路ふくろうの郷

「故人を偲ぶ会」

10年間で亡くなった入居者を偲
び、皆さんで語りませんか。

とき 平成28年6月25日(土)

13時30分から16時

ところ 淡路ふくろうの郷

内容 講和・松栄寺住職 笹津氏

植樹

職員募集のお知らせ

社会福祉法人 ひょうご聴覚障害者福祉事業協会では職員を募集しています

- ・特別養護老人ホーム 淡路ふくろうの郷 介護職員・看護師(常勤、パート)、調理員(パート)
- ・就労支援(B型)事業 おのころの家 障害者支援員(常勤・パート)
- ・就労支援(B型)事業 神戸ろうあハウス 送迎運転手(パート)《勤務地:神戸市兵庫区》

お問い合わせ:淡路ふくろうの郷(0799-25-8550)又はお近くの事業所まで